

## 電気は再生エネ100% 脱炭素化推進



車に充電をする西脇崇史社長＝安八郡安八町南今ヶ淵、ボンフォーム本社

# ボンフォームがEV充電器設置

カーインテリア用品メーカーのボンフォーム(安八郡安八町南今ヶ淵、西脇崇史社長)は、再生可能エネルギーによる電気を100%利用できる電気自動車(EV)用充電器2基を本社駐車場に設置した。EV普及を見据えての取り組みで、東海3県で同様の充電器を設置するのは初めて。

投資額は約140万円。東京の充電器メーカーのプラグ製。同社は太陽光発電など再生可能エネルギーの電気を調達し、充電器の電気使用量と同じ量を調達した電気と埋め合わせる「グリーン充電」を行っている。ボンフォームが設置した充電器も再生可能エネルギーの電気を使用し、定

期的に証明書を発行する。充電器は、1時間の充電で約30キロ走行可能。今のところ、充電できる車両は西脇社長が所有するプラグインハイブリッド車1台だが、今後、社員がEVを購入した場合や社用車にEVを採用した場合に活用する。西脇社長は「脱炭素化を進める必要がある中、自動車に関わる企業として取り組むことにした。会社で充電できるようになることで利便性が高まり、EVを購入する社員が出てくれば」と話している。